



まぼろしのまほう

TOUHOU PROJECT FAN BOOK

PRESENTED BY
Yakumi-Sarai



この漫画は
東方Projectの
二次創作作品です









東方プロジェクト
ファンブック

こどくのみまほう



昨日の夜 また空で
ドンパチがあつたな

おつかないねえ
またあの魔女が
暴れてるんだらうか

以前みたいに
弾遊びつてんなら
まだしもなあ…

魔女といえはばら
霧の湖にある赤い館

あそこの魔女が
館の住人を皆殺し
にしてから
しばらくになるな

思えばあの頃からだよな
黒い方の魔女が
暴れるようになったの

神様だろうと妖怪だろうと
お構いなしって話じゃないか
それに仙人様だってあいつに…

魔女といえはば
もう一人いたじゃないか
里に人形劇をしに来てた…

あつちの方はとんと
見なくなったな

どうせあいつも
黒い魔女に
…と

ザリッ…







……そうね
レミィ



はやくこの術式を
完成させなきゃね

大丈夫
もうすぐよ

待っててね
レミィ……

ズ









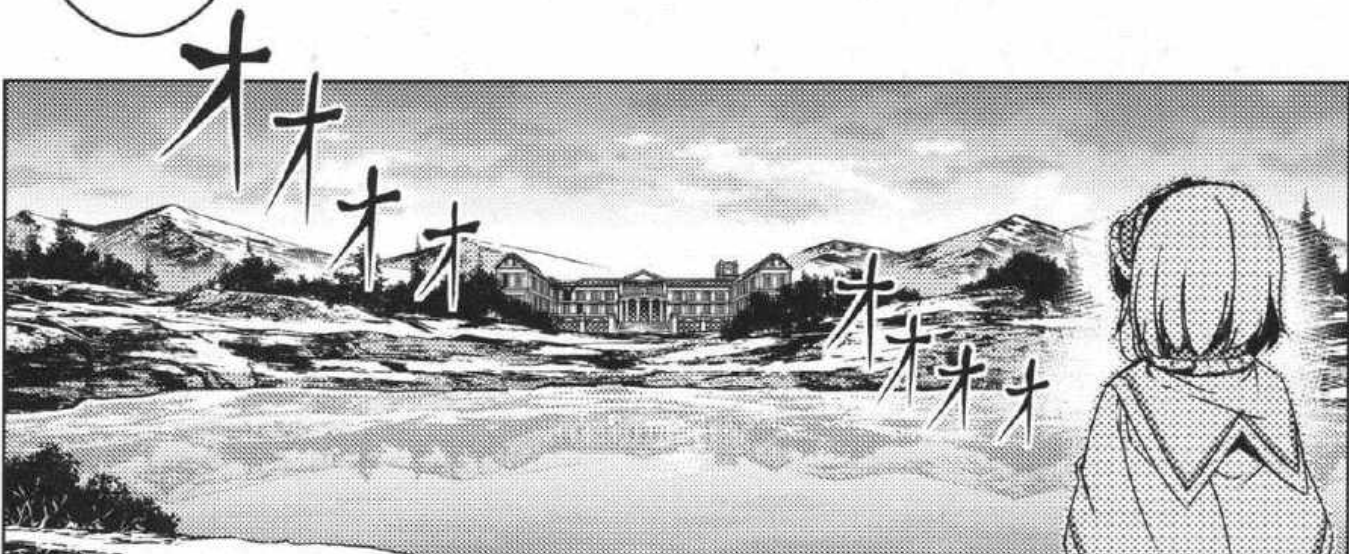
あなたは
力に溢れている
ようです

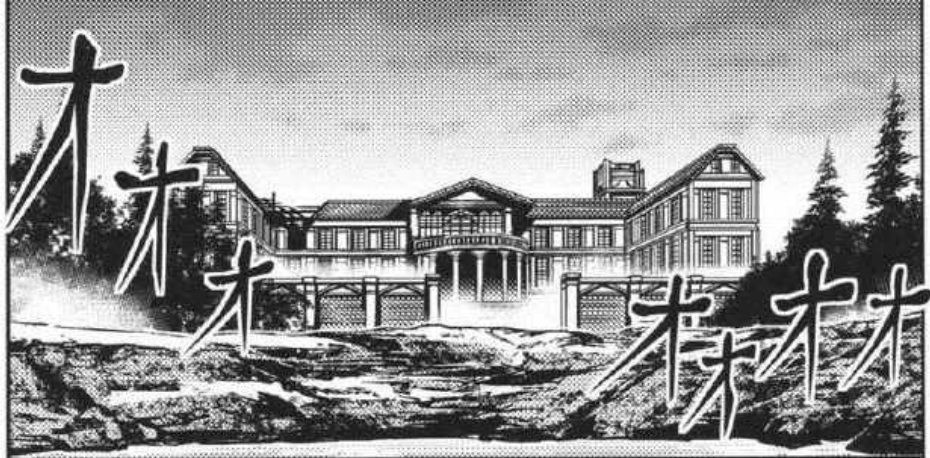
でも……



数多の妖や神々から
奪った力に……

ねえ……
霧雨魔理沙









え：
だい：
ちやん：？

神をさえも欺くほど
精巧な人形の
つもりだったけど…

自然そのものの
具現であるあなたは
騙しきれなかった
みたいね…



そして
あなた達にも…



だけど その自然も
精気を失い続けている

ならば尽きる前に
贄となってもらう

謝るつもり
はないわ…

いくら謝っても
赦される事では
無いもの…



この力…神妖達から
奪った物だけではない…



それがあの子に
流れ込んでいる

これは……



強大な
魔力

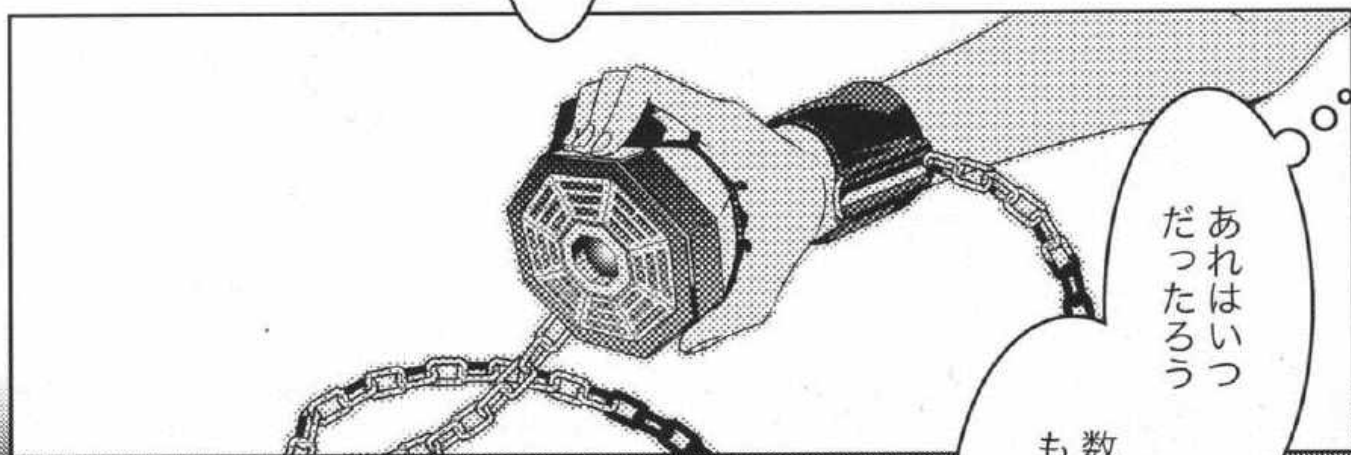
強い

強く

強く



……



あれはいつ
だったろう

数年前か
もっと前か



それともつい最近
だったかもしれない



済まないな
霧雨魔理沙



見逃す
つもりも無い



赦せとは
言わない

だが



だが これしか
方法は無いのよ



まだ何も...!



ちよつと
待ってくれ!

私が何をした
っていうんだ...!



我らのこの行為すら
歪みの一部なのかも
しれない

だが
それでも…

まだ…
か…

そうだな…しかし
既に遅くもある



……やるぞ

気をつける
この娘には
彼方の大元から
莫大な力が
流れ込んでいる

やめる…

やめるよ…



やめてくれー!





ノ・パ・チ・ユ・リ・ー・
ノ・レ・ツ・ジ・…!





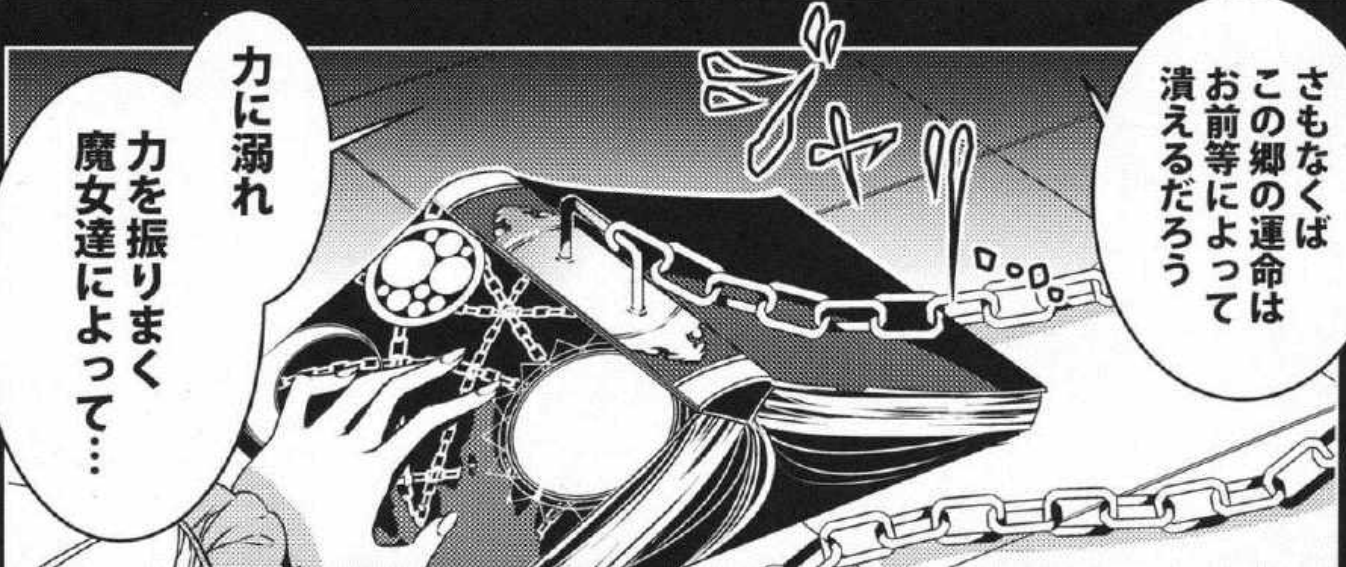
私はお前を
殺さなければ
ならない



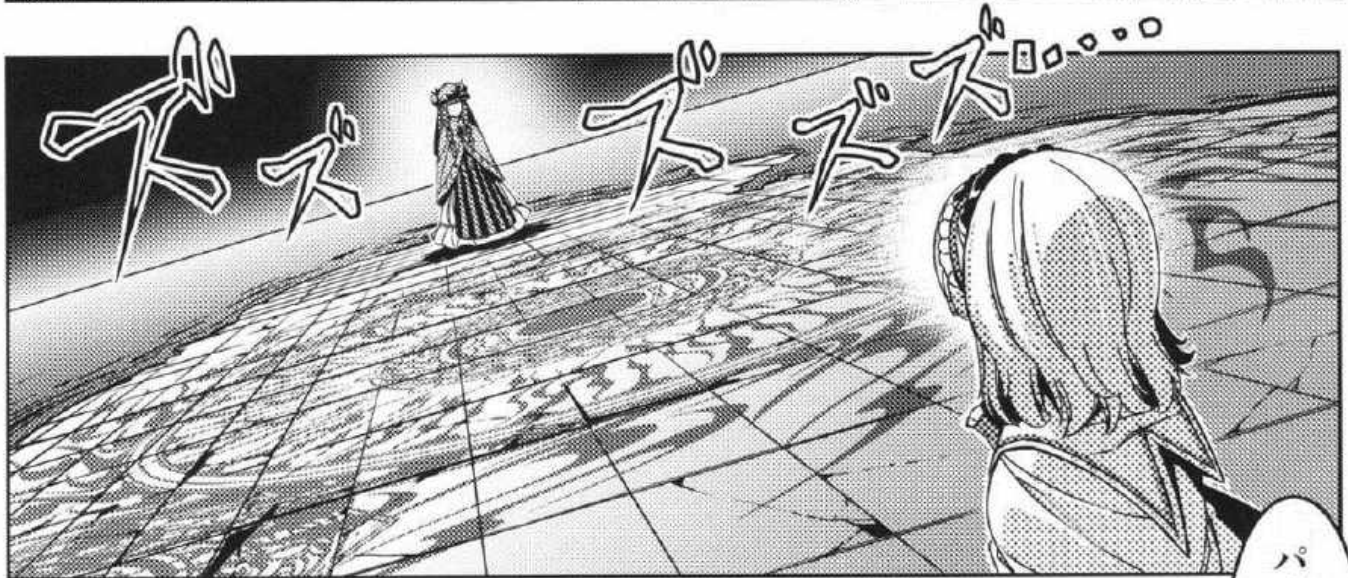
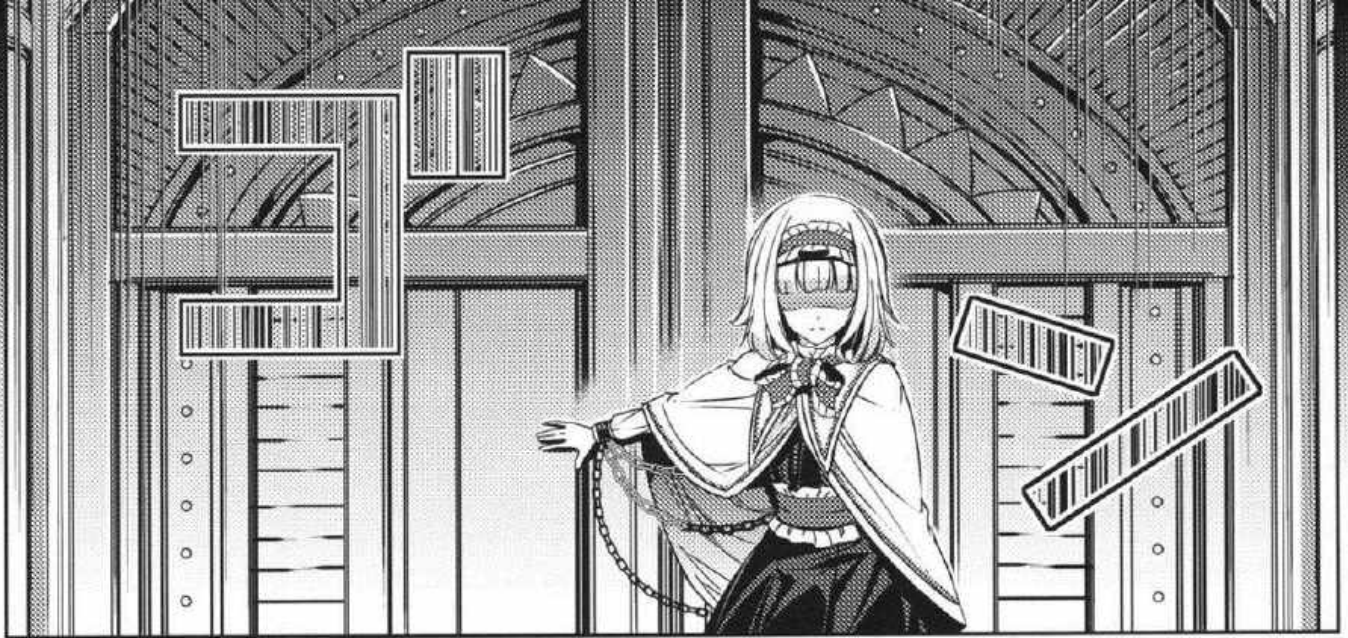
レミィ...



さもなければ
この郷の運命は
お前等によって
潰えるだろう

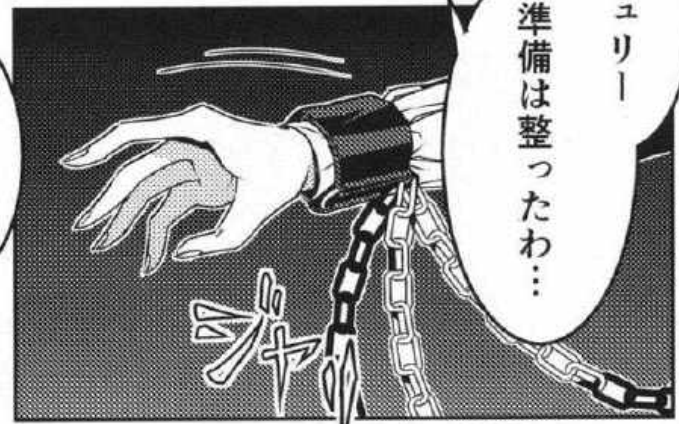


力に溺れ
力を振りまく
魔女達によって...



こっちもよ
アリス

…白黒のは？




パチュリー
準備は整ったわ…



この儀式を邪魔
しそうな奴らは
あらかじめの子が
黙らせたわ

残っているのは
今戦っている
聖白蓮と…


聖白蓮……か…



命蓮寺の
大魔法使い……


結局あの人は
こちら側では
なかったわね……

……
この空気……
憶えがあります



法界に封印されて
いた時とよく似た
この閉塞感……

私は魔法使い
である前に
僧侶ですから



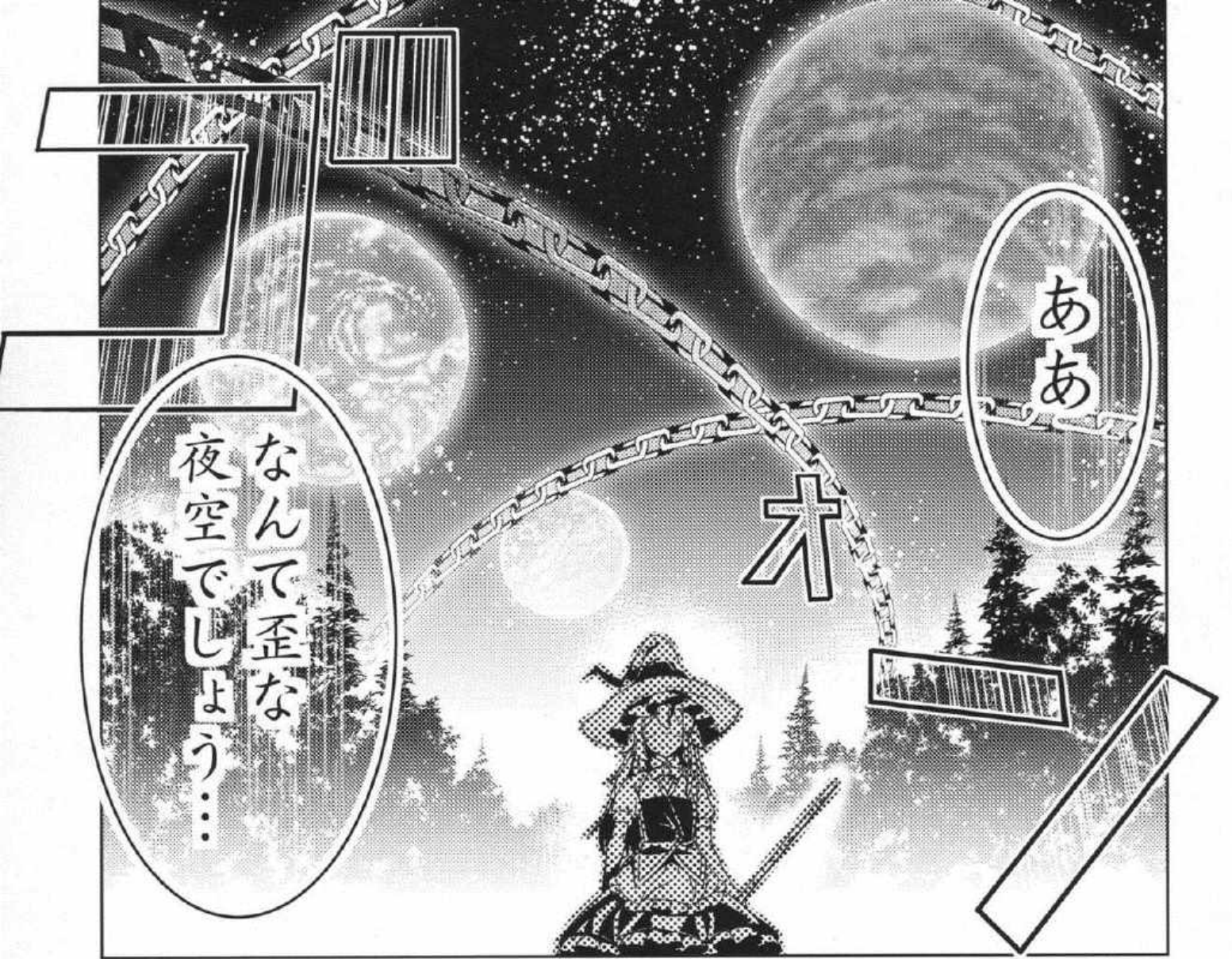
だからあなた達
のように力を
得る事はなく

しかし道を違う
事もなかった……

……いいえ
道を違えていた
のはあなた達
ではなく



この郷
そのものか



ああ

オ

なんて歪な
夜空でしよう……



そうなの
ですね……

あなたは
あの星空を……

取り戻す……

ため……に……

ヘカーティア・ラピスラズリ

地獄の女神にして
三界の女神……

そして魔術の神

その力を加護を
貴様は得た
つもりなのだろうか？

パチュリー・ノーレッジ

だが違う

貴様……いや
貴様等は
利用されている

貴様等の力を通して
奴はこの郷に
干渉している

この郷の運命を
弄ぼうとしている



その通りだ



だから私を…
私たちを排除し

運命を正そう
というのね…



ス..



ガッ

だけど……



パチエ.

なあ



それはそれで
癪じゃないかい？

奴にこの郷の…

私たちの運命を
弄ばれるのは御免よ

でもそれを
阻止する為に貴方に
手を下すなら…

その行為も又
奴の歪めた運命に
屈している様なものだ

だからね
パチエ

貴方に頼み
があるの

調子はどう？
パチュリー

問題無いわ……

さあ 始めましょう



E





白黒の魔女

そうで
しょう？



それにしても
まさか人里の…





いいえ 郷全ての
人妖を人形にして
しまうなんて…




魂を彼岸に流さず
今この瞬間に全て解放
する必要があったのね…



その為にアリスが人形の
中に魂を封じ込めた





その魂達を
繋ぎ変えた気脈によって
紅魔館へ吸い寄せている

大魔術に焼く
贄とするために

わかる
でしよう？
パチエ

贄は私たちだ

魔術さ

魔術で魔術の神を
出し抜くんだ

皮肉な事に
奴の加護を得た
今の貴方なら

それを成すのに
充分な知識が
魔力が有る

私たちを費にして
術式を組み上げる


郷中の気脈を
魔力の炉とするんだ

すべてを元通りに…

時計の針を
逆行させるんだ

この運命を

破壊するんだ



わかるでしょう？
贄は私たちが



わたしたち
この郷全てを
贄とするんだ



そこまでわかっているなら
全とお見通しなんだろう？
本当にずるい奴だ！

私達は郷を取り戻す！
その為に郷を犠牲にする！

なら お前はどいつする？
博麗の巫女はどうする？

結局 八雲の連中は
動かなかったよ

あいつらも全部
お見通しなのさ

だからお前も
ぐうたらと茶でも飲んで
いれば良かったんだ

何もしない事が
お前の勤めだった！

なのに
なんで……



でもね 私の仕事は
それだけじゃない

人の道を外れ
魔道に堕ちた者を
滅するのよ
巫女の役目なのよ

だけど…

杞憂だった
みたいね……





はい！
ここまで！

すげいわ！

私の力を利用して
私の干渉を
断ち切ろうだなんて…



さらにはクロノスも
真っ青な時間逆行で
全ての復元を試みた…





郷そのものを贄とした
大魔術は見事だったけど…

あなた達自身の力で
魔術の神に敵うわけがない



身の程を
知りなさい



一体どういう
つもりで
こんな事を…？

あなた…



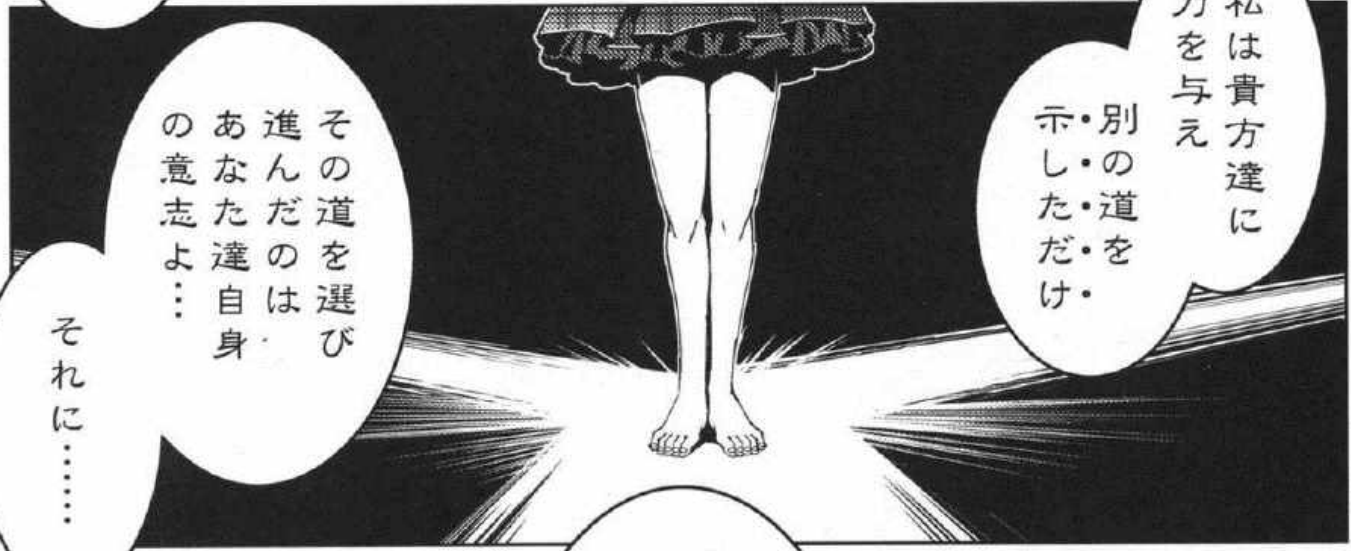
別に……

ただの
気まぐれよ

どうにも面白い
郷だったからね

ちよつとちよつかいを
出したくなっただけ……

でも……



私は貴方達に
力を与え

別の道を
示しただけ

その道を選び
進んだのは
あなた達自身
の意志よ……

それに……



本当は楽しかった
のでしょうか？



力を得て

知識を得て

その業は^{わざ}格段に
熟達したのでしょう？

その研究は飛躍を
遂げたのでしょうか？

どうだった？

郷の全てを自分の人形で
埋め尽くした気分は

どうだった？

神の干渉をも挫き
時間すらも操る魔術を
組み上げた気分は

サイコーだった
のでしょうか？

狂熱を感じた
のでしょうか？

あなたが
それが魔法使いの
サガですもの……



魔理沙!?



何をしているの!?

戻りなさい!
力を得た今の
あなたの魔術でも
そいつには...!

ワタ...



あなたも楽し
かったでしょう?

おめでとう!

あなたは人の身を超えた
人の身から堕ちた

魔術を扱う者として
充分な資格を...

人の身には余る
その力を振るい
並み居る神妖を
圧倒した



そんなわけあるか…



その企みを私達が
打ち破る事を

あいつらが
私ごときに斃される
様なタマか！

わかってたのさ
お前の企みを





あいつらが……

アイツが……!



こんな私
なんか……!



……

お前なんか私の
魔法は使わない!



使わない……



使ってなんか
やるもんか!



なるほど

あくまで人として
我が前に立つか…

正解だ人の子よ

神殺しを
成すは

同じ神でも
魔でもない

人にこそ

人だからこそ
成せる業…

ああ……

これだから
この郷は
面白いわね…

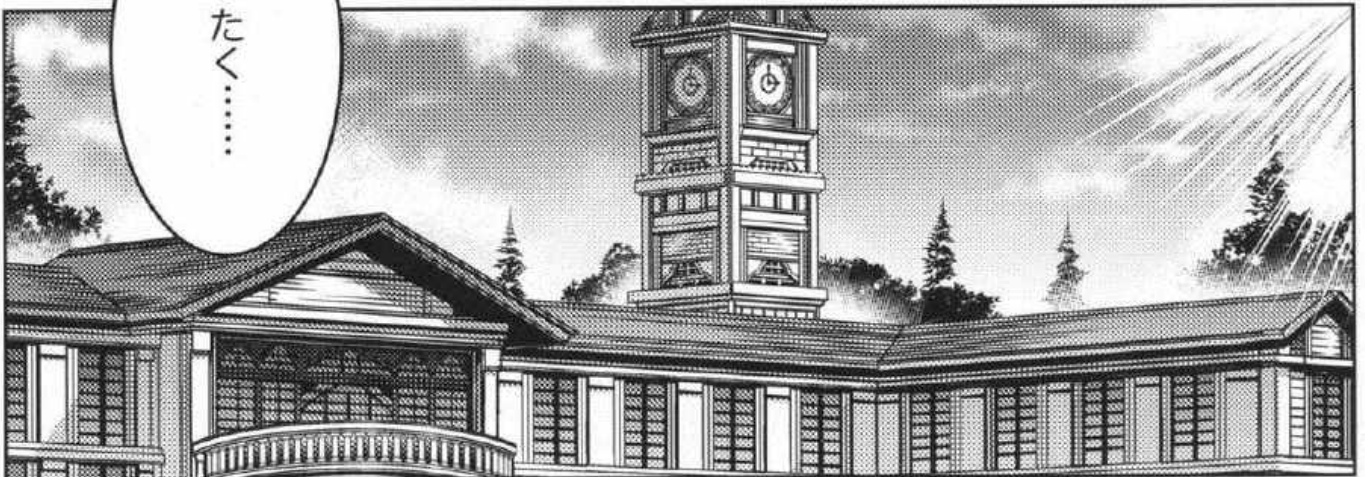


ゴーン

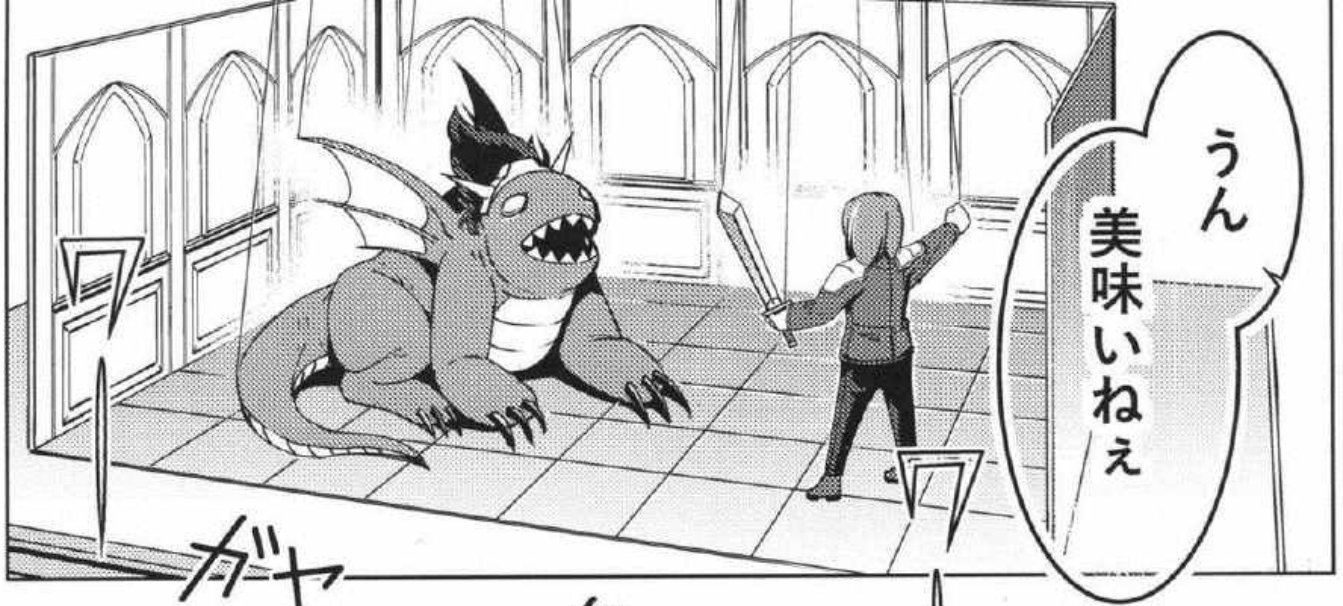
ゴーン

ゴーン

まったく……







いやあ

この出廻らこの味が
なぜか落ちつくぜ

出廻らしで
悪かったわね

痛いな！

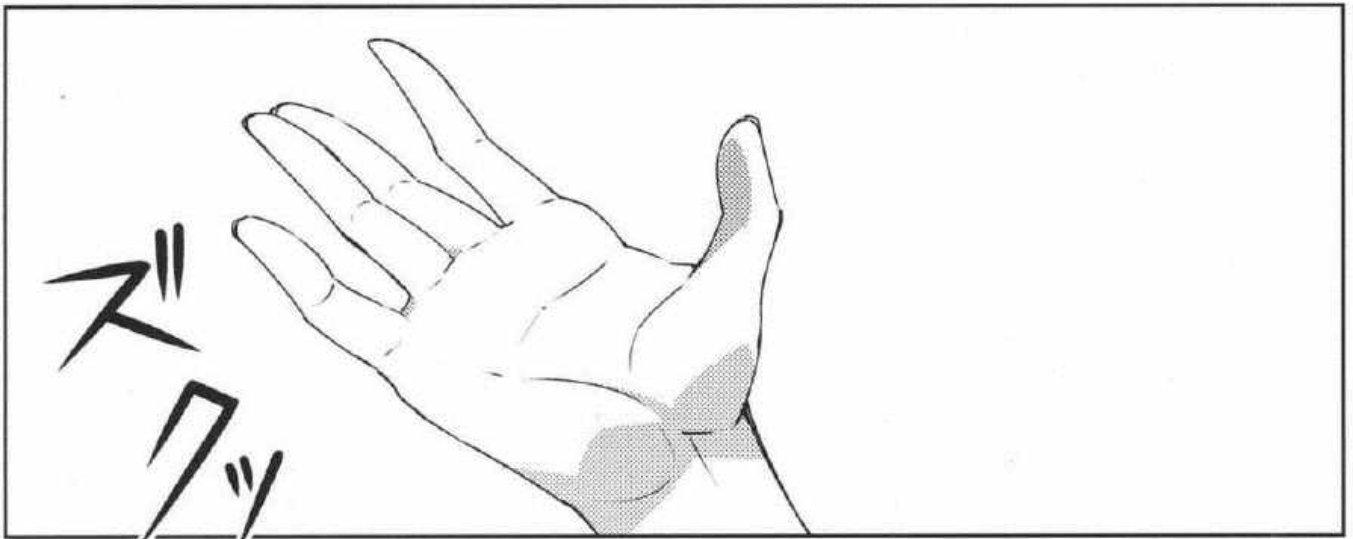
私は人間なんだから
加減しろよ！！

してるわよ

そうは思えんな…

ピクッ

ギヤ





それで……



結局すべて
元の黙阿弥に
なったのね



郷はおろか自分達すら
贅とした魔術だった
らしくてね……

文字通り全てを捨てて
全て元通りって事みたい



それは大層な事で…

やっぱりあの郷は
面白いわね…



急に謎の
悪寒が…!

そうね…

極東の島国の更に
ほんの一部とはいえ
様々な神妖の
垣^る塙^ぼになっている

それらが蠢きあい
互いの力を伸ばす…



今回だってそれらの
力を利用したからこそ
あれだけの大魔術となった…

なんだっけ

あなたの国に
そんな呪いが
有ったわよね

毒虫を詰め込んだ壺で
さらに強い毒虫を
育てるっていう…

……なる程





あの郷は

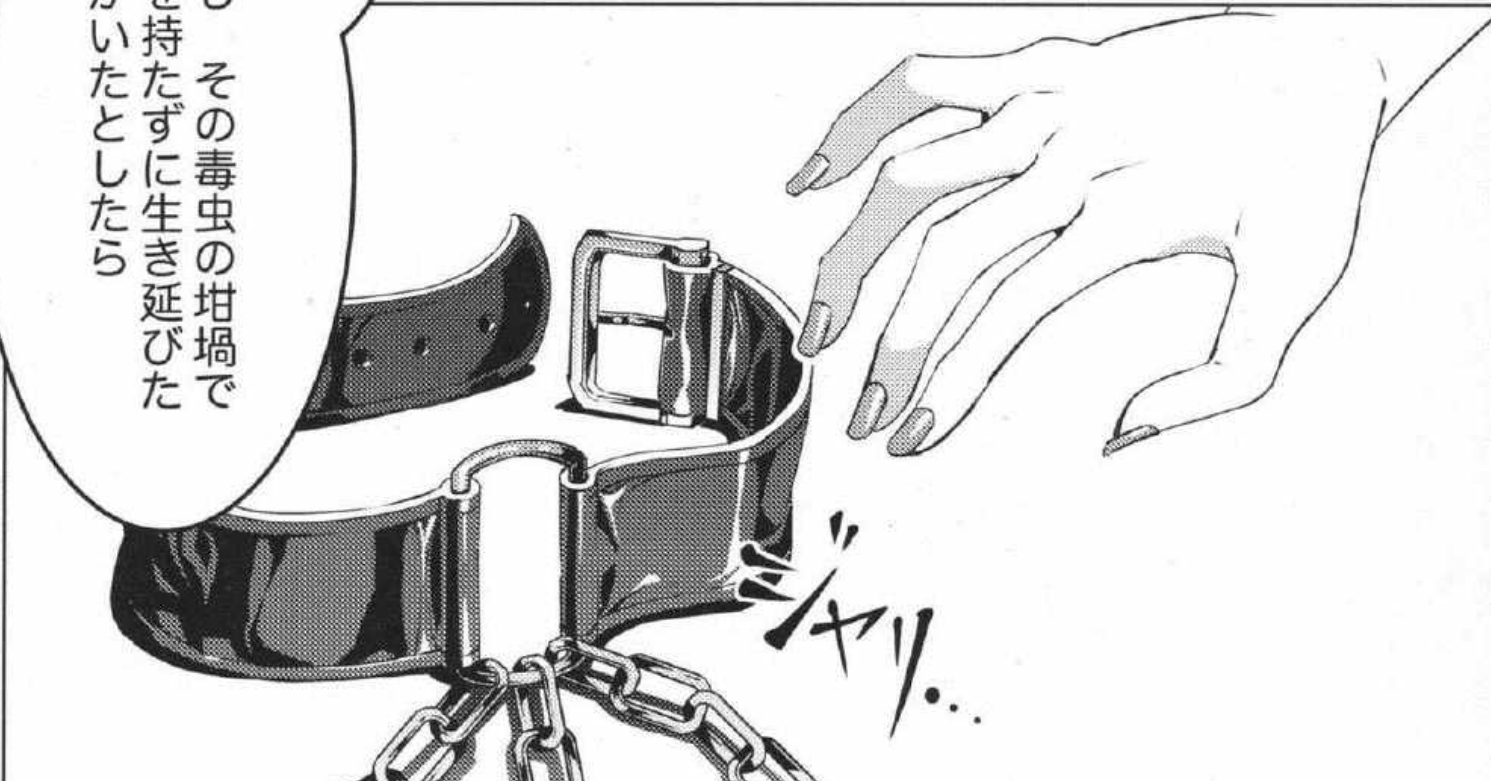
蠱毒の壺だと……？



そうそう
それそれ

……ああでも

もし その毒虫の坩堝で
毒を持たずに生き延びた
虫がいたとしたら



それはとても

素敵でしよう？



終

あとがき

23冊目になります。ゾウノセです。

今回はヤケにノリが暗いです。
テーマやストーリーの大筋がもっと暗い本も過去にありましたが
ギャグや小ネタがここまで少ないのは初めてじゃないかな…。

秋に出した2冊がギャグ成分濃いめだった反動もあるかもしれませんが
ストーリー的にもちギャグを挟めるような雰囲気ではなかったです…。
その分所々に出てくるヘカさんの意匠の素っ頓狂さが際立って
描いてて良い感じの息抜きになりました。
読み心地の事は知らない。

とにかくヘカーティアがヤバイ存在であることを描きたかった本です。
デザインとそれに対する現人神の暴言のせいで
二次創作ではネタキャラ成分濃いめの扱いを受けていますが
設定的には本当に規格外のキャラなんですよね。

そして紺珠伝の魔理沙ENDの紫のセリフや態度から感じた
幻想郷に意図的に外部の力を誘い込んでいるのでは？
という妄想を合わせた感じです。

他二人に比べてアリスの描写が不足気味なのは心残りです。
一番の理由はページ数の関係ですが、
いつか描きたいなーと思ってるネタに被っちゃいそうなのもあります。
言い訳にはなりませんけど…。

ではでは

次は合同祭事で、京都合同の際に見送った椀のギャグ本を描く予定です。
前回とは違いシリアス成分は殆どない予定。
ただそうなるとう椀本が短期間で連続してしまうので、
他にネタが思い浮かんだらそっちに変更するかもしれません。

もしくは今年後半の仕事が忙しすぎたせいもあり
(フォトパッシュ本は本当に良い出来だと
自負しているので是非読んでみてください…。)
今現在ちょっと心身ともに擦り切れてるので、例大祭まで休む可能性も…。
その場合は純狐ケロ様本を予定してます。

ともかくまたお会いできたら幸いです。

奥付

東方Project Fanbook

こどくの まほう

2016年12月29日
コミックマーケット 91 発行

原作
上海アリス幻樂團 様

印刷
栄光印刷 様

サークル 薬味さらい
著者 ゾウノセ

<http://zounose.jugem.jp/>

pixivID 2622803
mail zounose@gmail.com
twitter @zounose

お前なんかには私の
魔法は使わない！

使わない……



もうひといきです

強化魔法を
両手に！

ズズ...

南無三!!

いやちよつと
めつちや使つてるじゃ……

グ……ズ……ギヤアアム！

スウ……

ギギギ

Welcome
Hall

TOUHOU PROJECT FAN BOOK

こどくのまほう

PRESENTED BY

Yakumi-Sarai

2016.12.29

